



2021.11.25



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

====目次=====

1■ともに生きる：熊本県から■

できる人ができることから
NPO 法人日本語サポートあさ
小川ひろみ

2■AJALT からのお知らせ■

AJALT の著作教材を活用した
「日本語教師のための教え方講習会（オンライン）」開催のお知らせ

3■進学進路ガイダンス情報（2021年）■

=====

1■ともに生きる：熊本県から■

コロナ禍が長く続く中、地域の日本語教室は今まで通りの継続が難しく、活動を休止したり、オンラインを工夫したりしながら、それぞれ頑張っているというのが現状です。

今回は熊本市にある「NPO 法人日本語サポートあさ」の日本語教室「よかとも」の紹介を「あさ」の代表の小川ひろみさんにお願いました。「よかとも」の母体である「あさ」は30年活動が続けている、いわば熊本県の日本語教育界のパイオニアです。何人ものAJALTの講師も「あさ」日本語講師養成講座に伺いました。それでは小川ひろみさんの「できる人ができることから」をお読みください。

.....

できる人ができることから

NPO 法人日本語サポートあさ
小川 ひろみ

「NPO 法人日本語サポートあさ」は平成元年（1990 年）に熊本市で発足し、現在まで 30 年活動を続けている日本語教育団体です。

社会や日本語教育の変遷、時代の要請により活動のキーワードは 1990 年代の「日本語教育の認知と日本語教育人材の育成」から 2000 年代の「国際交流と地域の活性化」、そして「技能実習生や働く人たちの日本語」、2010 年以降は「地域生活者の日本語支援」へと変わっていきました。

しかし、キーワードや活動の形がかわっても構成メンバーのほとんどが同じ養成講座で学んだ修了生の仲間ということから、「学び続ける日本語教師」として勉強会活動は途切れることなく、AJALT の先生方をはじめとして日本語教育をご専門とする先生方や現場の緒先輩、仲間からの学びは現在まで継続しています。

熊本は日本語教育機関も学習者も残念ながら多いとはいえません。大学や専門学校での日本語教育を除けば日本語教育実施団体は片手で足りません。このような中、養成講座修了生の仲間たちは学んだことを生かそうと地域生活者のための日本語教室「よかとも」を住宅街の小さな公民館で運営してきました。教室名の「よかとも」とは熊本弁で「いい友達」です。「よかとも」の仲間は留学生とその家族、日本人配偶者、ALT の英語の先生たちで最大でも 10 人未満の週 1 回土曜開催で、活動内容は入門から JLPT 対策やビジネス日本語まで学習者ニーズに合わせた日本語学習支援はもちろんのこと、夏には浴衣姿で水前寺公園での薪能観劇や正月の季節行事、着物着付け等の文化紹介、ムスリムに配慮した BBQ や出身国の料理紹介等、地域生活日本語支援として家族まで巻き込んで、「よかとも」の仲間はできる人ができることをできる時に共に学びあい楽しみながら、一步一步活動を続けています。

ところが、コロナ禍で活動拠点の公民館はほぼ無期限に閉鎖され、それでもオンラインで何とか活動を継続していました。しかし徐々に学習者が減少し集

まる仲間も直接顔を合わせる機会がなくなり存続の危機に直面していた時に、仲間のひとりの支援で活動拠点の教室が熊本市のほぼ中心に近いところに2021年4月に設置されました。これによりコロナ禍中でも教室が閉鎖されることも活動の制限もなくなりました。

現在もコロナ禍中で学習者の増加は見込めませんが、さてコロナ禍終息後は活動の拠点も得て「よかとも」にはこれからどんな楽しみがあるのでしょうか。NPO 日本語サポートあさの「よかとも」たちはこれからも楽しみながら学び続け進んでいきます。
